

# 【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理・表現 I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いて、自分や学校のことについて、会話を続けようとすることができる。	1,2,3	インタビュー テスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 補助となるものを用いるなどして基本的な情報を伝え、また簡単な意見交換をすることができる。	4,5,6, 7	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ジェスチャーを交えながら、日常生活における身近な状況において、会話を続けることができる。	8,9,10, 11	ディスカッション GTEC	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いて、ディベートをするなど、意見や気持ちをやりとりすることができる。	12,13, 14,15	ディベート		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いて、1分間のスピーチをすることができる。	1,2,3	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	4,5,6, 7	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 与えられたテーマについて、簡単な自分の意見とその理由を述べるすることができる。	8,9,10, 11	プレゼンテーション GTEC	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、身近なトピックについてある程度流ちょうに発表することができる。	12,13, 14,15	プレゼンテーション		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡単な英語を用いて30語程度のまとまりのある英文原稿を書くことができる。	1,2,3	エッセー ライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 5文程度で要約や感想を書くことができる。	4,5,6, 7	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 導入・展開・まとめを意識しながら、50語程度の英文を書くことができる。	8,9,10, 11	エッセー ライティング GTEC	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 50語程度で要約や自分の考えを書くことができる。	12,13, 14,15	単元テスト		

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

## 【様式2】 年間指導計画 2024

R4	学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	学校番号:	1
	科目名:	論理・表現 I		大学科:	普通科 1年

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	1	SI	ア	インタビューテスト	SI1□	簡単な英語を用いて、自分や学校のことについて、会話を続けようとするができる。
	5	2			ロールプレイ	SI2□	補助となるものを用いるなどして基本的な情報を伝え、また簡単な意見交換をすることができる。
	6	3・4	SP	ア	スピーチ	SP1□	簡単な英語を用いて、1分間のスピーチをすることができる。
	7				5	スピーチ	SP2□
	8	6	W	ア	エッセーライティング	W1□	簡単な英語を用いて30語程度のまとまりのある英文原稿を書くことができる。
	9	7			単元テスト	W2□	5文程度で要約や感想を書くことができる。
	後期	10	8・9	SI	イ	ディスカッション GTEC	SI3□
11		10・11	ディベート			SI4□	簡単な英語を用いて、ディベートをするなど、意見や気持ちをやりとりすることができる。
12		12	SP	イ	プレゼンテーション GTEC	SP3□	与えられたテーマについて、簡単な自分の意見とその理由を述べるができる。
1		13			プレゼンテーション	SP4□	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、身近なトピックについてある程度流ちょうに発表することができる。
2		14	W	イ	単元テスト	W3□	導入・展開・まとめを意識しながら、50語程度の英文を書くことができる。
3		15			単元テスト	W4□	50語程度で要約や自分の考えを書くことができる。

## 論理・表現 I 科目の目標

「やり取り」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p>
「発表」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
書くこと	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>

# 【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理・表現Ⅱ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	必要に応じて相手に聞き返ししながら, 身近な話題について, 会話を続けることができる。	(Part1) 1,2,3	インタビュー テスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて, 賛成や反対などの自分の意見を伝えたり, 物や人を比べたりすることができる。	(Part1) 4,5 (Part2) 1,2,3	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	必要に応じて伝えたい内容の表現を言い換えながら, 身近な内容について, 情報や考えを交換することができる。	(Part2) 4,5 (Part3) 1,2,3	ディスカッション	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	ある程度社会性のある話題について, 賛成や反対などの自分の意見を伝えたり, 物や人を比べたりすることができる。	(Part3) 4,5	ディベート		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	やさしい英語を用いて, 2分間のスピーチをすることができる。	(Part1) 1,2,3	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマについて, 自分の意見を述べるることができる。	(Part1) 4,5 (Part2) 1,2,3	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対し, 賛成・反対の立場を明確にした上で, 流れに注意しながら自分の意見を述べるることができる。	(Part2) 4,5 (Part3) 1,2,3	プレゼンテーション	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	原稿を準備すれば, IT機器を活用しながら, ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。	(Part3) 4,5	プレゼンテーション		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対して, 100語程度のまとまりのある英文を書くことができる。	(Part1) 1,2,3	エッセー ライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。	(Part1) 4,5 (Part2) 1,2,3	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし, 首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。	(Part2) 4,5 (Part3) 1,2,3	エッセー ライティング	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	自分の意見を含めて100語程度にまとめることができる。	(Part3) 4,5	単元テスト GTEC		

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

## 【様式2】 年間指導計画 2024

R4	学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	学校番号:	1
	科目名:	論理・表現Ⅱ		大学科:	普通科 2年

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	Part1 1	SI	ア	インタビュー テスト	SI1□	必要に応じて相手に聞き返ししながら、身近な話題について、会話を続けることができる。
	5	2・3			ロールプレイ	SI2□	簡単な英語を用いて、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	6	4・5	SP	ア	スピーチ	SP1□	やさしい英語を用いて、2分間のスピーチをすることができる。
	7	Part2 1			スピーチ	SP2□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べることができる。
	8	2			W	ア	エッセーライ ティング
	9	3	単元テスト	W2□			適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。
	後期	10	4・5	SI	イ	ディスカッ ション	SI3□
11		Part3 1	ディベート			SI4□	ある程度社会性のある話題について、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
12		2	SP	イ	プレゼン テーション	SP3□	与えられたテーマに対し、賛成・反対の立場を明確にした上で、流れに注意しながら自分の意見を述べる ことができる。
1		3			プレゼン テーション	SP4□	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。
2		4	W	イ	エッセーライ ティング	W3□	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし、首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。
3		5			単元テスト GTEC	W4□	自分の意見を含めて100語程度にまとめることができる。

## 論理・表現Ⅱ 科目の目標

「やり取り」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
「発表」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
書くこと	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>

# 【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理・表現Ⅲ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題について、情報や考えを交換することができる。	1,2,3	インタビュー テスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 様々な話題に関するスピーチを聞いて、それについて質問をしたり、自分の意見を述べたりすることができる。	4,5,6	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 会話を円滑にする表現を用いながら、時事問題や社会問題について、情報や考えを交換することができる。	7,8,9	ディスカッション	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 社会性のある話題に関するスピーチを聞いて、それについて質問をしたり、自分の意見を述べたりすることができる。	10,11,12	ディベート		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 様々な話題について、自分の意見を交えながら3分程度のスピーチをすることができる。	1,2,3	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 教科書レベルの文章を口頭で要約したり、文章に対する意見を述べたりすることができる。	4,5,6	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、社会性のある話題について効果的な表現を駆使して発表することができる。	7,8,9	プレゼンテーション	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ある程度まとまりのある文章を口頭で要約したり、文章に対する意見を述べたりすることができる。	10,11,12	プレゼンテーション		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度の序論・本論・結論の段落構成からなる英文を書くことができる。	1,2,3	エッセー ライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 120語程度で要約することができる。	4,5,6	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度の序論・本論・結論の段落構成からなる英文を、20分以内で書くことができる。	7,8,9	エッセー ライティング	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度で要約することができる。	10,11,12	単元テスト		

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

## 【様式2】 年間指導計画 2024

R4	学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	学校番号:	1
	科目名:	論理・表現Ⅲ		大学科:	普通科 3年

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	1	SI	ア	インタビューテスト	SI1□	必要に応じて相手に聞き返ししながら、身近な話題について、会話を続けることができる。
	5	2			ロールプレイ	SI2□	簡単な英語を用いて、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	6	3	SP	ア	スピーチ	SP1□	やさしい英語を用いて、2分間のスピーチをすることができる。
	7	4			スピーチ	SP2□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べることができる。
	8	5	W	ア	エッセーライティング	W1□	与えられたテーマに対して、100語程度のみとまりのある英文を書くことができる。
	9	6			単元テスト	W2□	適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。
後期	10	7	SI	イ	ディスカッション	SI3□	必要に応じて伝えたい内容の表現を言い換えながら、身近な内容について、情報や考えを交換することができる。
	11	8			ディベート	SI4□	ある程度社会性のある話題について、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	12	9	SP	イ	プレゼンテーション	SP3□	与えられたテーマに対し、賛成・反対の立場を明確にした上で、流れに注意しながら自分の意見を述べるることができる。
	1	10			プレゼンテーション	SP4□	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。
	2	11	W	イ	エッセーライティング	W3□	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし、首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。
		12			単元テスト GTEC	W4□	自分の意見を含めて100語程度にまとめることができる。

## 論理・表現Ⅲ 科目の目標

「 や 話 す 取 り こ と 」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手に説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
「 話 す こ と 」 「 発 表 」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
書 く こ と	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>